

# 地方都市視察報告書

環境建設委員会

1 実施日 平成25年10月18日(金)

2 視察地 福岡県豊前市

## 【市の概要】

(1) 面積 111.17km<sup>2</sup>

(2) 人口・世帯数(平成25年10月末現在)

○人口 27,270人

○世帯数 11,835世帯

(3) 昭和30年4月に、八屋町、角田村、山田村、三毛門村、黒土村、千束村、横武村、合河村、岩屋村の9ヶ町村が合併して今日の豊前市が誕生した。発足当初の市の名称は、宇島市だったが、同年4月14日には豊前市と名称を変更し今日にいたっている。

3 視察項目・内容

景観計画について



4 視察参加者

## 【委員】

下村治生委員長

佐藤佳一副委員長

久保広介委員

鈴木ゆきえ委員

根本二郎委員

おぐら利彦委員

深沢としさだ委員

有馬としろう委員

雨宮武彦委員

## 【随員】

議会事務局議事係

佐藤勇治

氏家あふゆ

## 5 視察結果・所感

市長さんが自ら、熱心に現地を案内してくださり、非常に感激した。

市民の方々が一緒になって、ワークショップを持ちながら、反対もなくスムーズに景観計画をつくられたのは、すばらしい。

まちぐるみで取り組みをされているということで、歴史あるまち、歴史ある環境を保全するということに対して、すごく意欲を感じた。その歴史と環境を守っているだけでなく、守ることによってそれをいろんな方に知ってもらい、見ていただくという取り組みをすごくやられていると感じた。見習うべき点が多々ある。

自動販売機が非常に厳しく制限されていて、都会とは違う印象を持った。非常に色彩とか、調和のとれた街を保全していると思った。

歴史とこれからの建物の調和、自然との調和という視点で景観計画を立てられていると思うが、歴史と今現存する町並みを残しながら、将来はどうしていこうというビジョンがしっかりある市だと思った。

加藤清正が朝鮮に行ったり、豊臣・徳川を通じて内藤清成がトウガラシをここにいうふうな歴史があり、民間の人がつながりをつくっていて、新宿区の内藤とうがらしの種を送ったことで、豊前市のユズと一緒にその内藤とうがらしを使って、ゆずこしょうをつくって売り出している。歴史的景観の保全地域ということで、そういったえにし、歴史を大事にしていく姿勢を持っていると感じた。

## 6 主な質疑項目

- (1) 協働による景観まちづくりについて
- (2) 景観の歴史・特徴について
- (3) 景観の維持について
- (4) 文化的背景について

## 7 その他

### 【共同視察者】

みどり公園課長 吉川洋志

景観と地区計画課長 森孝司

